

町長日誌

No.177



町長日誌の第177号です。町長が日頃町民の皆さんと話したことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

7月16日(月) AM10:30

今日は「海の日」でお休みなのですが午後から東京出張なので、朝から役場に来て溜まっていた決裁文書の処理などを行っています。今月は、東京出張が5回もあるのですが今の東京は気温35度、湿度70%など毎回「よく人が生きているな!？」と思うぐらいの劣悪な環境にあります。しかし、そのような中でも満員電車での通勤に耐えながら日本の首都では大勢の人々が働いているのです。さて、6月12日から続く雨降り日照不足の天候も回復しそうな晴天に今日はなりました。待ちわびた酪農家が朝から草刈りを始めていました。とにかく暫くは晴天が続いてほしいと天に祈っています。

町長室で決裁などをしてしていると外から何やらガタゴトと音が聞こえて来ました。外を覗いて見ますと消防庁舎裏手に仮設してありますコンパネで作ったトンネルを使った救命救助訓練の音でした。もう何年になるのでしょうか？ 興部支署の若手職員が札幌市で毎年開催される「全道消防救助技術訓練指導会(タイムと技能を争う大会)」に出場したいと言い出したことから始まり、毎年若手職員3名でチームを作って参加しています。昨年は消防団が全道大会出場のため指導会には出場できませんでしたが、今年は新たなチームを作り早くから寸暇を惜しんで訓練を繰り返しているのです。今月21日に指導会がありますので、今朝から仕上げの練習を先輩二人の指導を受けながら取り組んでいるのでした。この様に、若い消防職員は日々先輩たちの指導を受けながら全道指導会で他の消防職員と救助技術を競い学ぶ経験を重ねることで一人前の消防職員へと成長していくのです。良い成績を願っています。

7月4日(水)

午後から旭川紋別高規格道整備促進要望と西紋別5市町村の来年度事業要望のため昨日から東京に入り、お昼少し前に武部事務所に伺い代議士と天候の話などをして

いた時でした。お昼の全国ニュースで遠軽町の橋脚が大雨のために根元がえぐられ沈下して橋がV字型になってしまった映像が流れていました。これは7月2日に梅雨前線が北海道にかけ留萌・空知・旭川そして遠軽や常呂方面に集中的に雨を降らしたため河川が急激に増水したことにより起きた災害でした。幸い本町には大きな被害はなかったのですが、この梅雨前線はこのあと南下し西日本の広域で記録的な大水害をもたらしました。なかでも岡山県や広島県で被害が甚大なのですが、この地域は酪農畜産の盛んな地域でもあります。未だ行方不明者捜索や市街地のニュースしか報道されないのですが、山間地にある酪農・畜産農家の被害は甚大で、搾った生乳も運ぶ道路が崩れていたり、乳業工場が被害を受けたりと今後廃業に追い込まれることも予想され、中国地方の生乳や肉牛の生産が縮小する可能性が大きいのです。このことは2011年の東日本大震災の時と同様で、福島県を中心に酪農家などが廃業したため本州の生乳生産は急激に減少しているのです。今回の水害がさらに追い打ちをかけることは確実で、北海道産生乳の増産期待が更に高まりそうですが、北海道も不順な天候から一番牧草の品質低下が深刻なため増産は厳しい状況なのです。

7月15日(日)

沙留保育所の運動会でしたが、朝方に大きな雨が降りましたので会場を興部にあるグリーンハウスに移して行いました。1週間前には興部保育所もグラウンドで出来ずにこの会場で行いました。それでも子供たちはとっても元気に走ったりお遊戯をしたり運動会を楽しんでいました。1歳児の中にはずうっと泣いていて先生から離れない子もいましたが、一輪車に乗せてもらいお父さんやお母さんに押ししてもらって競技になると嬉しそうにはしゃぐ子供たちの様子を見るとこちらの心が温まるように思います。春に入所した子供たちが僅かの間に逞しく見えるのもこの運動会です。運営に協力して頂いた保護者の皆様には本当に感謝しています。ありがとうございました。

毎年のように日本のどこかで災害が発生しています。被災した地域の高齢化はその地域の衰退に拍車を掛けます。「避難のサイレンが聞こえなかった！」本町でも災害時に聞かれることです。しかし、災害の被害は人それぞれなのです。床下浸水の家もあれば床上浸水もあり、流されてしまう場合もあります。「川が護岸や堤防の整備で安心だ！」と思うのは危険なのです。何かあるのか分からないのが災害なのです。ご自宅の周囲環境、隣近所の関係今一度見直してみてください。貴方の命を守るのは貴方自身なのです。役場もしっかり対応しますが何よりも町民皆様のご協力が大切なのです。よろしく願います。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

